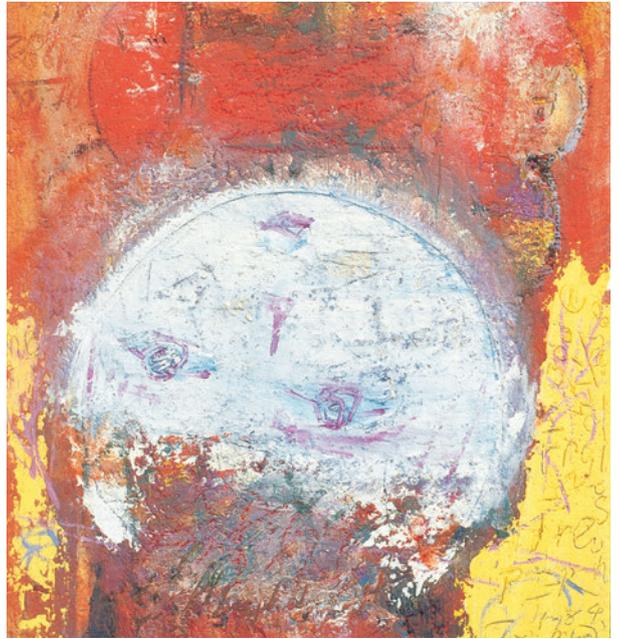


絵：太田朝三



謹賀新年

vol.12

四つ葉通信

認定NPO法人四つ葉のクローバーと支援者を結ぶ小冊子



【四つ葉からい基金】ご支援のお願い

進学や資格・免許の取得など、「子どもたちの未来」を応援していただませんか？ WEB サイトからお申込みできます。
(QRコードを読み込むと、支援サイトへ繋がります)



【四つ葉NEWS】

昨年9月に「NHK かんさい熱視線」にて、四つ葉のクローバーの取り組みが「18歳後〜どう支えるか〜若者・自立支援の現場〜」と題して、詳しく紹介されました。視聴者から大きな反響も、たくさん届いています。

改めて表彰おめでとうございます。そして貴重な体験をさせていた
だきありがとうございます。表彰時の杉山さん、とってお綺麗でい
つも以上に輝かれてました!! 社会貢献は目に見えるに、結果、
数字には出にくいイメージなので日々の苦勞など沢山あったと思いま
すか、杉山さんはじめ、スタッフの方々の日々の努力がこうして形となっ
て表彰され、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。(Lさん)

◎四つ葉のチームで今回受賞したけど、杉山さんが私たちに支援し
たいという信念がなければここまで来てなかつたと思います。(阿部)
昭恵さんが、一人一人の役割があるって仰ってました。杉山さんは
僕らを社会に出していくって役割を持たれて、僕は僕なりにブラ
ザーになってく中で、社会に何か貢献できるやろうって今回思い知
らされました。貴重な体験を有難うございました。しかも今回の出
来事を目に焼き付けておきました。(Fくん)

【社会貢献者表彰式典に参加した、若者たちの感想】



2020年 新年あけましておめでとうございます。

【公益財団法人 社会貢献支援財団 社会貢献者表彰を受賞して】

認定NPO 法人四つ葉のクローバー
理事長 杉山真智子



この度の受賞に際しましては盛大な祝賀会を開催していただき、安倍会長よりご丁寧な祝詞ならびにお祝いをいただきました。この栄誉は、幼少期に保護者からの虐待や貧困等生き辛さを抱えながらも前を向き懸命に生きる若者たちに、新たな希望をくださいました。これも皆様に応援していただいた賜物と、ここにあらためて感謝申し上げる次第です。

初東京、初新幹線の若者を始め、職員、東京の仲間たち約20名が代表の杉山の表彰状授与を見守ってくれました。テレビのニュースで見たことがある帝国ホテル&孔雀の間。あまりのゴージャスさに圧倒され、有名なお寿司、天ぷらのお店、豪華ブッフェ、美味しそうなデザートに目をみはり、目を輝かして長蛇の列に並んでいました。

成人式以来という正装姿の和かな若者たちを眺めて、やさぐれだった入所直後の彼らのことを思い出していました。四つ葉のクローバーは親からの虐待や帰る家がなく経済的にも困窮してホームレスになった等、15歳から22歳の若者が共に生活し、社会に貢献できる人材として社会に送り出す自立援助ホームです。入所時「大人は誰も信用できない」と断言する彼らと、信頼関係を構築するまで職員の闘いのような毎日が続くと言っても過言ではありません。当ホームを卒業後、毎月一度の里帰りシステムを作り、「ただいま〜」と顔を見せてくれます。そんな若者たちが帰宅後、次々と私にメールを送ってきてくれました。その中で23歳の若者のメールを紹介したいと思います。

「……僕は、四つ葉に住んでいたころ、杉山さんに何度も叱られてぶつかったこともあったけれど、それがすべて愛情やったと、今日改めてわかりました。ホームを退所してからも四つ葉に何度も助けてもらって、言葉じゃ言い表せないほど感謝しています。でも四つ葉や杉山さんにもらったものを、欠片も還すことができていないことが悔しいです。今日、お聞きした表彰された方々の努力や苦悩、覚悟を自分の物差しで測ると、感極まって涙腺が決壊しました。これからは僕自身も誰かのロールモデルになれるよう、社会に対して僕にしか出来ないことを見つけていきます。いつか必ず強さと優しさを持った人間になります。今日、式典で僕は決心しました。社会福祉の力になります。四つ葉のスタッフや仲間に出会えて良かったです。まだまだ弱くて泣き虫で、高い壁や深い穴に邪魔されることもあるかもしれませんが、これからも見守ってください……」

最終頁にも、もう二人の若者のメールを掲載しておきました。四つ葉のクローバーの若者たちは今年も前を向いていきます。一人一人登る山は違いますが、頑張ってくれるに違いありません。皆様、引き続き応援のほど宜しくお願いいたします。



「四つ葉のクローバー」は、児童養護施設退所者や社会的養護の必要な若者たちが生きる希望を見つけ、健全な社会人になるために支援するNPO 法人です。

四つ葉のクローバーが、「第53回社会貢献者表彰」に選考されました!!

社会貢献者表彰とは、人びとや社会のためにつくされた方を表彰し、公益財団法人社会福祉財団によって贈られる「日本財団賞」のこと。広く社会の各分野において、社会と人々の安寧と幸福のために尽し、顕著な功績を挙げながら報われる機会の少なかった方々を対象として選考されます。表彰の対象となるのは、緊急時の人命救助、社会福祉の増進や青少年の育成などへの多年にわたる功労、国際協力、海の環境保護と安全保持…等々。学識経験者で構成される表彰選考委員会によって、寄せられた推薦の功績内容を審査のうえ、毎年受賞者が決定します。

四つ葉のクローバーは設立6年という歴史の浅い団体ながら、児童養護施設等を巣立った若者たちのためのシェアハウス運営を行い、社協との協働で地域の中小企業家同友会150社と提携した就労体験の場づくり、資格所得や進学資金支援のための「未来基金」設立、卒業生が月に一度定期的集まる「真夜中会議」といった活動によって、社会に貢献できる人材を育成している点が高く評価されました。

これからも私たちは、この立派な賞に恥じない団体として社会福祉を推進していきたいと決意を新たにしました。今号では、先日の表彰式典並びに祝賀会の模様をご報告させていただきます。



▲表彰式は、帝国ホテル孔雀の間で開催。全国から多数の参加者が集まる豪華な式典でした



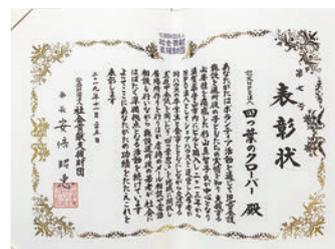
▲▼社会貢献財団の会長は、総理夫人の阿部昭恵さん。代表の杉山は、表彰状を直々に手渡されました



▲ステージに立つ表彰者たち（表彰者の一部）



◀ 祝賀会の冒頭で、挨拶を行う日本財団の尾形武寿理事長



▲社会貢献財団から贈られた表彰状



▲祝賀会の様子。慣れないゴージャスなまわりの雰囲気、杉山は少々緊張気味



▲高級料亭「なだ万」の職人さんが、揚げたての季節の天ぷらを提供してくれます。もちろんその前は、長蛇の列でした



▲正装した四つ葉出身の若者たちは、カッコいい



◀▼江戸前寿司のなか田の職人たちが、注文に応じて目の前で握ってくれるお寿司には大感激。四つ葉の若者たちも、ここぞとばかりに注文していました



▲会場には、四つ葉のクローバー卒業生、現役生10名の他、関係者が多数お祝い駆けつけてくれました

